



よつば

天童市立長岡小学校だより

平成27年3月16日発行

発行者 校長 山澤 勉

1年間ありがとうございました

創立30周年という節目の年度も残すところあとわずかになって参りました。今年度1年間、本校教育活動に対しまして、保護者・地域の皆様よりご理解と物心両面に渡るご支援を賜り、心より感謝申し上げます。家庭での温かさ、PTA、地域での豊かな体験活動に育まれて、子どもたちは、206日間の学校生活を終えようとしています。本当にありがとうございました。今後ともこれまでと変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

各学年で今年度一番伸びたところ、一番頑張ったところを学年主任から書いてもらいました。修了式の時に子どもたちを大いにほめたいと思っているところです。下記に載せましたので、家庭、地域でも子どもたちの頑張りをほめていただければ幸です。

1年

6年生との交流や登校班、縦割り班活動などの異学年交流を通して、自分たちの生活を支えてくれたみんなに感謝する心が育ちました。植物（アサガオなど）を育てたりして、変化や成長の様子に関心を持っただけでなく、命を大切にする心が育ちました。

2年

けんかはあるけれど、友だちの話を聞いて解決しようという気持ちを持つようになりました。学習中も以前より友だちの発言を聞くようになり、わからないところがあると教え合ってみんなで伸びようと頑張りました。

3年

いろいろなことにみんなで挑戦した1年間でした。友だちのよいところを見つけるのが上手で、みんなで仲良く活動しています。生活も学習もめあてに向かって自分たちで考え、話し合いながらよりよいものをめざしてきました。

4年

心を一つに、みんなで合唱を創り合うことができました。総合で、「人×自然はおいしくしたい」、「みんな笑顔大作戦」に取り組み、人と関わり合うことや伝え合うことの大切さを学びました。

5年

命の大切さを知り、命を大切にするという自分たちでできることを実行してきた1年でした。「自分たちにできることは、何でもおいしいおいしく食べることだ。」と、給食を残さず食べました。食べることは生きること、生きる力がつきました。

6年

学校のリーダーとして、いろいろな場面で活躍しました。どんな活動をしたらみんなが仲良く楽しい学校生活を送ることができるかを考え、みんなで協力して取り組みました。縦割り班活動でも、下級生に優しく声をかけながら活動に取り組みました。

おひさま、なかよし

それぞれの学級で話し合い活動を行い、おひさまでは、かけっこタイムの後の遊びを、なかよしでは、なかよしチャレンジを考え、みんなで楽しい学校生活になるように取り組んできました。

校内放送で全校に話した内容です。

亡くなられた方々のご冥福と一日も早い復興を願って全校で黙祷を行いました

東日本大震災から今日で4年が経ちました。1000年に一度あるかないかという大震災でした。2万人を超える多くの方々が亡くなりました。今でも、ふるさとに帰れず、避難所生活を強いられている方が大勢います。3.11にあたり、次の二つのことをもう一度心に刻んでほしいと思います。一つ目、親からもらったたった一つの命を大切にして、一生懸命生きること。二つ目、大震災による大津波が、すべてのものを跡形もなく奪い去ってしまいました。ご飯が三回食べられる、蛇口をひねると水が出る、スイッチを入れると明かりがつく、学校へ毎日行って勉強したり友だちと遊んだりできる、こういった当たり前にできることが、実はとってもありがたいことなんだということを改めて思い起こしましょう。日々感謝の気持ち、ありがとうの気持ちを忘れずに生活を送ってほしいと思います。それでは、亡くなられた多くの方々のご冥福と東北の一日も早い復興を願って黙祷を捧げたいと思います。 黙祷

